

ろうそく能

名曲鑑賞能

綾

あやのつづみ

鼓

もてあそばれし
老いらくの恋

2019年 6月22日(土)

14時開演(13時開場)

石川県立能楽堂

金沢市石引4丁目18-3
TEL.076-264-2598

《前売》4,000円 《当日》4,500円

《若者割》30歳未満・当日のみ 2,000円 ※年齢を確認できるものをご用意ください

満席の場合、当日券がない場合があります。(若者割りを除く)

《チケット取扱》石川県立能楽堂、石川県立音楽堂チケットボックス、金沢能楽美術館

主催：公益社団法人 能楽協会

※金沢能楽会のホームページより前売予約をすることが出来ます。
詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kanazawanohgakukai.jp>

|| お問い合わせ || 金沢能楽会 TEL. 076-255-0075

名曲鑑賞能番組

解説 高橋 憲正

狂言

井杭

【算置】能村 祐丞

【何某】清水 宗治
【井杭】城戸 絃詩

【後見】炭 光太郎

火入の儀

ろうそく能

【ツレ】中村 清

【シテ】藪 俊彦

【ワキ】殿田 謙吉

【大鼓】飯嶋六之丞
【太鼓】麦谷 暁夫
【小鼓】住駒 俊介
【笛】吉野 晴夫

【アイ】炭 哲男

【後見】

佐野 由於
広島 克栄
島村 明宏

【地謡】

山崎 健 渡邊 茂人
田屋 邦夫 渡邊 荀之助
松本 博 高橋 右任
佐野 玄宜 高橋 憲正

※都合により、番組に変更のある場合がございます。

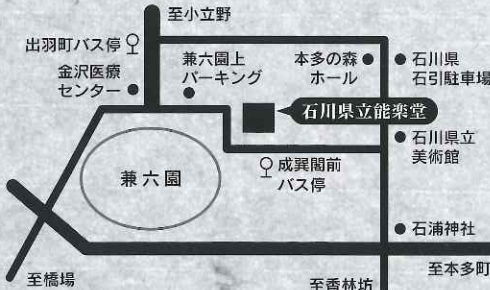
《終了午後四時頃》

解説

「能」綾鼓

（あやのつづみ）

筑前の国木の丸の皇居に仕える臣下（ワキ）が出て、女御に恋をした庭掃きの老人（前シテ）を呼び出し、桂の木に掛けた鼓を打つ音が皇居に聞こえたら女御のお姿を拝ませてやろうとの思し召しだと伝えます。桂の池の桂の木には美しい鼓が掛けてありました。それを綾で張ってある鳴らない鼓とは知らないで、老人は打ち続けます。打ち疲れた老人は生きる理由を失い池水に身を投げて死にました（中入）。自殺の知らせを聞いた臣下はその執心を恐れ、女御（ツレ）に遺体との対面を勧めます。桂の木に近づく女御は波の音が鼓の音に似ていると言い、正気をなくした様子です。そこへ老人の怨霊（後シテ）が現れ、綾の鼓だから鳴るはずがない、自分で打ってみられよ、と咎（しとが）を振り上げて女御を責め立てます。因果歴然は目の当たり、恐怖の責め苦が延々続いて、恨みを残した魔境の鬼は恋の淵に入りました。世阿弥の翻案（恋重荷）に先行する、綾の太鼓の面影を伝えます。



- 兼六園シャトルバス成興閣前バス停より徒歩1分
- 出羽町バス停より徒歩3分

駐車場が使用できません!

能楽堂敷地内、借行社の解体工事にともない駐車場が使用できません。ご迷惑をおかけしますが、近隣駐車場をご利用ください。駐車場情報はホームページをご覧ください。

和の灯りで、ひとときを

高澤ろうそく店

七尾市一本杉町11-1 電話/0767-53-0406